

## 基本理念

「福島ならではの」地方創生の推進＝

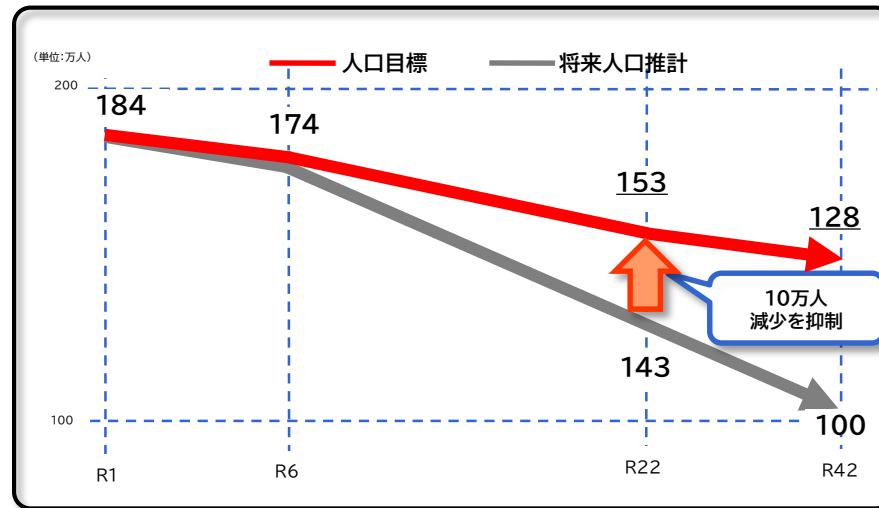
『復興・再生』と『地方創生』を両輪で推進

(「震災・原発事故」からの復興と「急激な人口減少の克服」という課題を先取りした本県として、真摯に課題解決を進めることで、国内外の社会的発展にも貢献していく)

### 【基本的な視点】

- ① 「ふくしまプライド。」を追求するための、県民一人ひとりの想いを大切に、挑戦を支える社会の実現
- ② それぞれの強みを発揮し、相互に連携・共創する社会の実現
- ③ 「ふくしまの地」で挑戦する姿を見て、自分も挑戦したくなる、人が人を呼び込む“あこがれの連鎖”を生む社会の実現

## 福島県の将来人口推計と人口目標



令和22年に県総人口“150万人程度の維持”

⇒5年後の令和6年に174万人を目指す！  
(次期戦略の共通目標)

【前提条件】

- 出生率 令和22年に福島県民の希望出生率 2.11人を実現
- 移動率 令和12年に社会動態±ゼロを実現

【特徴】

1. 中長期目標に加え、5年後(令和6年度末)の人口目標を設定
2. 施策が、人口減少抑制要因(①出生増、②死亡減、③転入増、④転出減)のどれに効果があるかを整理
3. 県民の認識(満足度)を図る県民参考指標を設定(県民意識調査結果の活用)
4. SDGs(持続可能な開発目標)の理念・目標を意識しながら取組を推進

## 復興・再生

## 地方創生(地域活性化+人口減少・少子高齢化対策)



・生徒と自治体や企業との接点の増加

・本県の将来を担う高校生の学力向上

### 基本目標1

一人ひとりが輝く社会をつくる(ひと)

【成果目標】

- 合計特殊出生率
- 健康寿命 (県民参考指標) 「県内で子育てしたい」と思っている人の割合

【基本的な考え方 ①、②】

出生 ↗ 死亡 ↘ 転入 ↗ 転出 ↘

- 1 一人ひとりの希望をかなえる
- 2 健やかな暮らしを支える
- 3 地域を担う創造性豊かな人を育てる

・がん患者の支援など治療と仕事の両立

・助産師養成への支援

・ふくしま結婚・子育て応援センターの運営、ネットワークの構築

・保育の質の向上

・障がい者の社会参加の促進

・健康データの見える化等による健康づくり



・子どもの郷土への理解促進



・イハ構想を基軸とした先端産業の集積

・企業の立地促進、ビジネス創出支援

・スマート農林水産業の推進(ICT、ロボット技術の開発・実証)

### 基本目標2

魅力的で安定した仕事をつくる(しごと)

【主な成果目標】

- 安定的な雇用者数
- 製造品出荷額等 など (県民参考指標) 「県内に魅力ある企業がある」と思っている人の割合 など

【基本的な考え方 ①、②】

転入 ↗ 転出 ↘

- 1 活力ある地域産業を支え、育てる
- 2 魅力ある農林水産業を展開する
- 3 若者の定着・還流につなげる

・経営力強化への支援

・ICT技術の活用による生産性向上(介護現場等)

・オリパラを契機とした県産品の魅力の発信

・起業・創業への伴走支援

・女性・高齢者等農林水産業の担い手確保

・鳥獣被害対策の強化

・インターンシップの拡充

・県内外の大学生に継続的に本県の企業情報を発信

農産物の高品質化



・生活交通の支援、医療提供体制の再構築

・再生可能エネルギーの普及拡大

・東日本大震災の教訓の継承、県民の防災意識の高揚

### 基本目標3

暮らしの豊かさを実感できる地域をつくる(暮らし)

【成果目標】

- 「住んでいる地域が住みやすい」と思っている人の割合 (県民参考指標) 「人と人との支え合いや絆を実感している人」の割合 など

【基本的な考え方 ①、②、③】

死亡 ↘ 転入 ↗ 転出 ↘

- 1 安全で安心な暮らしをつくる
- 2 ゆとりと潤いのある暮らしをつくる
- 3 環境に優しい暮らしをつくる

・過疎・中山間地域の地域公共交通の維持

・グリーン復興構想による自然公園の保全と利活用

・企業や団体と連携した子どもや高齢者の安全対策の強化

・まちなかの賑わいの創出

・ふくしまの地域密着型プロスポーツとの連携による活性化

・環境にやさしい生活のための携帯アプリの開発

豊かな自然の継承



・Jヴィレッジの利活用

・震災以降ご縁ができた団体との連携・共働

・避難解除地域等への新たな人の呼び込み(ホープツーリズムの推進)

※復興・再生の取組は復興財源等を活用して推進

### 基本目標4

新たな人の流れをつくる(人の流れ)

【成果目標】

- 人口の社会増減
- 本県への移住世帯数 (県民参考指標) 「国内外の友人・知人に対して、自信を持って紹介できる地元のものがある」と思っている人の割合

【基本的な考え方 ②、③】

転入 ↗ 転出 ↘

- 1 地域の多様な魅力を発信する
- 2 ふくしまへ新しい人の流れをつくる

・温泉・食など地域資源をいかした周遊につながる観光誘客の促進

・副業・兼業による地域で暮らすモデルの提示

・福島体験のため滞在住宅としての県営住宅の貸出し

・福島ならではの地域資源をいかした働き方・暮らし方の体験(チャレンジライフ)

・ふくしまで輝いている人にスポットを当てた情報発信



## 「福島ならではの」=『復興・再生』と『地方創生』を両輪で推進

「震災・原発事故からの復興」と「急激な人口減少の克服」という課題を先取りした本県として、真摯に課題解決を進めることで、国内外の社会的発展にも貢献

### 基本目標1 (ひと) 一人ひとりが輝く社会をつくる

出生 ↗ 死亡 ↘ 転入 ↗ 転出 ↘

#### 1.一人ひとりの希望をかなえる

##### (1)結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ① 結婚・出産・子育てへの切れ目のない支援

##### (2)仕事と生活の両立の希望をかなえる

- ① 男女がともに仕事と家庭を両立できる環境づくりの推進
- ② 男性の育児等の参加促進
- ③ 多様で柔軟な働き方の普及促進
- ④ 治療と仕事の両立支援

##### (3)次代を担う子ども・若者の希望をかなえる

- ① 子どもの権利が尊重される社会の形成
- ② 子どもたちの多様な学びの場の確保
- ③ 魅力的な教育環境の整備

##### (4)誰もがいきいきと活躍できる社会環境をつくる

- ① 年齢や性別、障がいの有無などにかかわらず誰もが活躍できる社会の形成

#### 2.健やかな暮らしを支える

##### (1)心身ともに健やかな暮らしを支える

- ① 健康づくりの推進
- ② 保健・医療・福祉の連携促進

#### 3.地域を担う創造性豊かな人を育てる

##### (1)ふるさとへの理解・誇りを育む

- ① 子どもの頃から地域の魅力に触れあう機会の提供

##### (2)心豊かでたくましい人を地域全体で育てる

- ① 担い手・人材の育成



### 基本目標2 (しごと) 魅力的で安定した仕事をつくる

転入 ↗ 転出 ↘

#### 1.活力ある地域産業を支え、育てる

##### (1)未来を拓き、復興をけん引する新たな産業を育てる

- ① 福島イノベーション・コースト構想の推進及び成長が期待される産業の育成・集積
- ② 企業誘致(本社機能、開発・研究拠点等)による雇用の創出

##### (2)しなやかで力強い地域産業を育てる

- ① しなやかで力強い地域産業を育てる

##### (3)地域資源をいかした産業を振興する

- ① 起業家の創出 ② 観光産業の振興
- ③ デザイン力の強化等による付加価値の向上

##### (4)国内外への販路を開拓する

- ① 国内外への正確な情報発信
- ② 国内外への販路拡大
- ③ 連携協定等を活用した販路拡大

#### 2.魅力ある農林水産業を展開する

##### (1)多様な担い手を育成する

- ① 法人・企業による安定雇用の創出
- ② 経営安定に向けた支援 ③ 新たな担い手の確保

##### (2)魅力と満足度の高い農林水産物を提供する

- ① 品質の高い商品の生産支援
- ② 第三者認証GAPなどの取得推進
- ③ 消費者の志向を踏まえた産地づくりの推進
- ④ 地域産業6次化の推進

##### (3)新たな技術を活用する

- ① AI・IoT、ロボット等を活用したスマート農林水産業の推進

##### (4)過疎・中山間地域における農林水産業を維持する

- ① 鳥獣被害の防止
- ② 農業・農村の多面的機能の維持・発揮
- ③ 過疎・中山間地域における担い手の育成・確保

#### 3.若者の定着・還流につなげる

##### (1)地域産業への理解を深める

- ① 子どもの頃から地域のしごとや産業に触れる機会の創出

##### (2)若い世代の県内への就業を促進する

- ① 若者等の県内定着の促進
- ② 県外から県内への還流促進

### 基本目標3 (暮らし) 暮らしの豊かさを実感できる地域をつくる

死亡 ↘ 転入 ↗ 転出 ↘

#### 1.安全で安心な暮らしをつくる

##### (1)多様な人が参加・連携する地域づくりを進める

- ① 地域に住む人それぞれが役割を持ち、いきいきと暮らすための取組の推進

##### (2)過疎・中山間地域の生活基盤を維持・確保する

- ① 日々の暮らしに必要な生活基盤(買い物環境、地域医療、教育、交通等)の維持・確保

##### (3)避難解除地域等の生活基盤を確保する

- ① 避難解除地域等における生活環境の整備

##### (4)災害に強いまちづくりを進める

- ① 震災の教訓の継承と防災力の向上
- ② 地域防災力の向上

#### 2.ゆとりと潤いのある暮らしをつくる

##### (1)地域の特性をいかしたゆとりある生活空間を守り、引き継ぐ

- ① 豊かな自然、美しい景観、地域固有の歴史、伝統文化の継承

##### (2)持続可能な歩いて暮らせるまちづくりを進める

- ① 生活に必要な機能がコンパクトに集積し、アクセスしやすいまちづくりの推進

##### (3)賑わいのある生活空間をつくる

- ① まちなかの活性化
- ② 交流拠点の整備

##### (4)文化とスポーツの振興による地域づくりを進める

- ① 文化・スポーツの振興

#### 3.環境に優しい暮らしをつくる

##### (1)省資源・省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの利活用を促進する

- ① 環境・経済・社会の好循環につながる取組の推進

### 基本目標4 (人の流れ) 新たな人の流れをつくる

転入 ↗ 転出 ↘

#### 1.地域の多様な魅力を発信する

##### (1)「福島ならではの」魅力を発信する

- ① 福島の良さが「伝わる」情報の発信
- ② 福島の魅力をいかした誘客の促進

##### (2)「ふくしま」で輝いている人の魅力を発信する(=あこがれの連鎖)

- ① あこがれの存在となる生き方・暮らし方の発信と結びつきの強化

#### 2.ふくしまへ新しい人の流れをつくる

##### (1)地域の内と外をつなぐキーパーソンを発掘・育成する

- ① 地域における受入態勢整備への支援
- ② 地域おこし協力隊の任期満了後の活動支援

##### (2)希望の暮らし方をふくしまで見つけられるよう多面的に支援する

- ① 多様なニーズを踏まえた福島への移住につながる支援

##### (3)本県と関わりのある人(関係人口)との交流促進、交流人口の拡大を図る

- ① 若者等と地域との交流促進
- ② 福島県とのつながりの強化

##### (4)避難解除地域等に新たな活力を呼び込む

- ① 新たな住民の呼び込みや交流人口の拡大

